



見えない「運」の高め方

「運のいい人」と「運の悪い人」の2グループに分け、宝くじの当たり率の違いを調べた実験があります。

一体どれくらい当たり率に違いがあったと思いますか？

先日お伝えした道徳授業の冒頭です。

宝くじの当たり率は・・・

まったく変わりませんでした。

どちらのグループも、同じ確率で当たったり外れたりしていたのです。

結果に「えー！」と驚く子どもたち。

結局、降ってきている運の量は誰も変わらないことが明らかになったんですね。

チャンスは、誰にも均等に降り注いでいるわけです。

でも、ここまで説明すると、次の疑問が湧いてくるはずです。

- ・そうはいっても、明らかにツイているように見える人がいるしなあ
 - ・その反対にやたらと貧乏くじを引くというか、運が悪く見える人も…
- そうなのです。

確かに、「運の良い人」「そうやって自分で感じている人」は存在するわけなんです。

では、その運の良しあしを決めているのは何か。

脳科学者の中野信子氏は、そのカギは「性格」にあると言っています。

性格を決定するポイントは大きく5つあるのですが、「運が良い人」はその内の2つの力が明らかに高いことが分かったのです。

それは何か。

それが、「開放性」と「外向性」でした。

中野氏の論を引用します。(日立製作所の社長との対談より)

経験への開放性というのは、新しいモノごとにどれだけオープンかということです。新しい技術が出た、新しい人が来たなど、自分が知らない何かがあるという場合に、積極的にそれを取り入れて喜ぶかどうかという尺度です。

外向性というのは、人と積極的に関わっていくことで、人がいまどう感じているか、自分の会社は外からどう見られているかなど、外側にある情報収集ができるかどうかというところにリンクしている尺度です。この2つの尺度は相互に関連し合っていて、この2つの尺度の高い人がチャンスをもつものにする可能性が高いと分かってきました。

この2つの尺度が高い人は、卑近な例で言うと落ちているお金に気づきやすい人なんです。また、周りの人から情報を取るのに長けていて、見ず知らずの人と仲良くなるのが得意です。

(中略)

もう一つ、面白い実験があるのですが、これは新聞を被験者に渡して、10秒間でその新聞の中に何枚の写真があるか数えてくださいというものです。新聞は、何ページもありますから、10秒間で全部数え切るのはかなり困難です。それでも正解したらかなり良い報酬がもらえるというようにすると、みんな真剣に取り組めます。誰しも成功しようと思うわけですが、10秒からカウントダウンが始まるとかなり焦ります。その中で、運がいいと考えている人のグループは、運が悪いと考えている人のグループより3倍も成功する人がいたんです。

運は平等なのに、何がそんな大きな差を生むのか気になるところですね。実は、これにはからくりがあって、新聞の1面をめくると、その1面の裏に答えが書いてあるんです。たとえば「写真点数は43枚」などと言葉で書いてあるんですね。そうすると、これは写真ではありませんから、生真面目に10秒間で写真を数えようとしている人は見落としてしまいます。でも開放性や外向性の高い人は、あたかも道に落ちているお金に気づくように、その記述に気づくわけです。

簡単に言うと、運が良い人は次の二つの特徴があるということです。

- 自分の過去の経験に縛られず、新しい物事にチャレンジできる。
- 見ず知らずの人と積極的に関わり、仲良くなることができる。

この2つができると、「チャンスをもにものにする可能性が高くなる」のですね。道徳の授業の際には伝えきれていなかったことについて、少し補足してみました。

ここまで Venture fourth で書き続けているように、「見える世界」ももちろん大切ですが、「見えない世界」もやはり重要です。

往々にして、見える世界は見えない世界に支えられているからです。

道徳の授業では、これまで「信頼貯金」や「3つの脳」や「陰徳」や「運」などを扱ってきたわけですが、これらは全て見えない世界のお話です。

道徳とは、見えない世界の学習でもあるわけですね。

先ほど、あるお家の方と電話で話している時に、こんな話を聞きました。

「4年生になってから、みんなすごく変わった」って家でよく話を聞くんです。

挑戦したり、前向きになったり、遅しくなったりした変化を指しての言葉だったそうですが、いずれもやっぱり「見えない世界」の成長が支えてくれているのだと感じています。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

